

Never Again: A Charter to End Extreme Hunger (極度の飢餓の終結に向けた憲章)

東アフリカでは、75万人に上る人々が飢餓による死に直面しています。21世紀史上最悪の食料危機において、同地域ではさらに何百万人もの人々が危険にさらされています。彼らは貧困、困難、生計の損失という遺産を背負うこととなります。迅速な行動が今まさに求められています。

実際にはこの危機は事前に予測され、かつ予防可能でもありました。私たちは惨事が起きる前に防止する知見を既に有しています。そして、この規模の災害を予防できる手立ても持っています。

女性、男性、そして子どもが餓死している状況は、到底許されることではありません。国際社会には、こうした事態が二度と起きないように取り組む責任があります。

1. 国際緊急支援システムの欠陥の是正

東アフリカでは、早期警告システムは既に整備されており、今回の危機が拡大する兆候は初期の段階からありました。にもかかわらず、他の数々の災害と同様、これらは概ね無視され、最悪の状況を防ぐための大規模行動は取られませんでした。災害が発生するのを待ってから対策を取ることは、生命や資金に大きな損失を伴います。危機の発生を予測しながら何も予防策を講じないことは許されません。各国政府、ドナー、国連機関、NGO、国連中央緊急対応基金(CERF)などを含む支援体制は、時機を得た適切な介入で状況変化に対応できるよう、十分に柔軟であるべきです。解決方法は一つではありませんが、一致した取り組みによる支援体制の改善により、危機の悪循環を打ち破ることが可能となります。

- 私たちは、政治に左右されない、ニーズに応じた災害の早期警告を、時宜を得た適切な対応につなげることを約束します。また、急性栄養不良のような災害の最悪の結果を回避するため、ドナーによる国家およびコミュニティの防災計画およびキャパシティ向上への支援を約束します。
- 私たちは、緊急のニーズを満たし即時介入を支援するために、早期警告が出た時点で透明なプロセスで被災者に確実に迅速に届くよう、国連中央緊急対応基金(CERF)の資金が拠出されることを求める国連総会決議を支持することを約束します。
- 私たちは、急性栄養不良などの災害における最悪の結果を回避するため、人道主義に則り国家およびコミュニティの防災計画、キャパシティ向上、行動を支援することを約束します。

2. 地元食料生産への支援

何十年にもわたる、小規模食料生産者への過少投資と天然資源の非効果的な管理は、東アフリカの危機をもたらした大きな要因となり、特に家畜生産者への影響は著しいものでした。世界的に、農業への長期的投資および気候関連災害のリスクへの適応策は、最も貧しい人たちが自力で食べられるようになり、国家経済により貢献できるよう支援するには不十分でした。気候変動への適応と災害リスクの軽減を開発政策の中に組み入れることを最優先課題としなければなりません。行動を起こさないことには、気候変動や食料価格高騰などの衝撃への対応に人々は苦しみ、日々命の犠牲を伴います。この現状は変えなければなりません。

- 私たちは、緊急かつ速やかにラクイラ食料安全保障イニシアティブ(AFSI)での公約を実現することを約束します。

- 私たちは、食料不安と栄養不良と闘うため、災害リスクの軽減や気候変動への適応が確実に開発アプローチの中心に置かれることを含め、2012年にラクイラ食料安全保障イニシアティブ(AFSI)が期限切れとなった後の長期計画に合意することを約束します。
- 私たちは、国家予算の10%を農業開発に充てるという公約実現を加速させるため、「農業と食料安全保障に関するマプト宣言」への調印国を支援することを約束します。
- 私たちは、食料安全保障を最大限に促進するよう、農業、家畜、牧畜への投資に関する既存の世界的、また地域的政策の実施を約束します。

3. 最も貧しい人々への社会的サービスおよび保護

世界中の何百万人もの人々が、生存の淵で生きており、常に災害と隣り合わせにいます。私たちはそのような人々を二つの変化、すなわち社会的セーフティネットと、より公正な投資をもって支援することができます。セーフティネットにより、1年間を通じて貧しい家庭の収入を安定させることができ、食べていくためにわずかな資産を売らなくて済むため、何百万人もの人々を危機の最悪の事態から守ることができます。公正な投資とは、誰もが有する医療ケアや教育などの基礎サービスを受ける権利を尊重することです。地域間であっても、女性と男性の間であっても、不正と不公平は生死にかかわる問題です。

- 私たちは、2015年までに全ての国において基礎サービスの公平な提供と生計への投資を掲げる開発戦略への資金投入を約束します。
- 私たちは、社会的セーフティネットにより最低限、人口の最も貧しい10%の人々を食料危機の影響から守ることを約束します。これには特に女性と子どもの食料および栄養ニーズに対応する、ニーズのみに基づく直接現金給付も含まれます。

4. 全ての人々が手にできる食料

食料価格の急上昇が、東アフリカのいくつかの地域を大惨事へと追い込んでしまいました。全ての人々が入手可能な価格で食料にアクセスできない限り、緊急の食料危機を防止することはできません。十分に食べることができない人々の数は増加しており、食料価格の急上昇がこの問題の大きな要因です。すべての人に入手可能な食料を、という基本的な権利の実現に向けて、私たちは行動を取るのが遅すぎました。

- 私たちは、食料備蓄のガバナンスが支援対象の人々に対して説明責任を果たすことを確認しつつ、地元、国家、地域レベルにおける戦略的かつ緊急の食料備蓄の拡充を約束します。
- 私たちはバイオ燃料の市場競争を終結させ、政府による食料輸出禁止措置を制限することで、食料価格の高騰と変動を招く原因を根絶することを約束します。

5. 武装による暴力と紛争の削減

餓死を招く主要な原因の一つである暴力を減らさなければ、大量の餓死に終止符を打つことは不可能です。紛争下にある何十万人もの女性、男性、子どもが支援も保護もなく生活しているという事実を世界は許してきました。さらに、紛争をもたらす貧困、ガバナンスの欠落、暴力の悪循環にほぼ何の対応もしてきませんでした。今こそ人々を保護し、支援するため、そして暴力と貧困の根本的な悪循環を根絶するため、緊急の行動を取らなければなりません。

- 私たちは、不安定な状況が命を脅かし、持続可能な開発を破壊しているところに、時宜にかなった適切かつ十分な人道支援をニーズに基づき提供すると共に、支援へのアクセスが制限されないようにすることを約束します。
- 私たちは、地域や国家の紛争に関与するすべてのグループが、公正で持続可能な、かつ安定した解決策を導けるよう、より積極的で持続的な外交を含む、紛争の影響を受けた人々を保護するための実質的対応策を求め、支援することを約束します。